

【保健所, 税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

令和5年3月20日時点

番号	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	竹原市庁舎	竹原市中央五丁目1番35号	庁舎					
	本館部分			別表2(3-2) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	Is=0.17 q=0.34	移転検討中	未定	講場屋根鉄骨部分 耐震診断の結果(詳細) X方向 PH階 Is=0.17, q=0.34 Y方向 PH階 Is=0.50, q=1.68
	別館部分			別表2(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is=0.31 Is/Is0=0.44 CTU・SD=0.28			1~3階, 搭屋部分 耐震診断の結果(詳細) Is0=0.7(市の指定による) X方向 PH2階 Is=0.70, CTU・SD=0.74 PH1階 Is=0.43, CTU・SD=0.58 3階 Is=0.48, CTU・SD=0.34 2階 Is=0.41, CTU・SD=0.38 1階 Is=0.34, CTU・SD=0.32 Y方向 PH2階 Is=0.70, CTU・SD=0.74 PH1階 Is=0.31, CTU・SD=0.67 3階 Is=0.41, CTU・SD=0.35 2階 Is=0.47, CTU・SD=0.44 1階 Is=0.33, CTU・SD=0.28
	別表2(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is=0.31 Is/Is0=0.44 CTU・SD=0.29	移転検討中	未定	耐震診断の結果(詳細) Is0=0.7(市の指定による) X方向 3階 Is=0.44, CTU・SD=0.41 2階 Is=0.31, CTU・SD=0.29 1階 Is=0.32, CTU・SD=0.30 Y方向 3階 Is=0.56, CTU・SD=0.52 2階 Is=0.46, CTU・SD=0.44 1階 Is=0.44, CTU・SD=0.41			

番号	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
2	広島県三次第一庁舎	三次市十日市1130-3, 1130-5	庁舎	別表2(5-3) 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s = 0.758$ $I_s / R_{ISO} = 1.08$ $q = 2.62$	耐震改修済	工事完了(R3年11月)	改修後の耐震診断の結果(詳細) $R_{ISO} = 0.75$ ※RISO:補強目標 X方向 PH2階 $I_s = 1.35$, $SD = 0.97$ PH1階 $I_s = 0.78$, $SD = 0.97$ 5階 $I_s = 0.76$, $SD = 0.97$ 4階 $I_s = 0.77$, $SD = 0.97$ 3階 $I_s = 0.77$, $SD = 0.97$ 2階 $I_s = 0.78$, $SD = 0.97$ 1階 $I_s = 0.76$, $SD = 0.97$ Y方向 PH2階 $I_s = 1.05$, $SD = 0.97$ PH1階 $I_s = 0.758$, $SD = 0.97$ 5階 $I_s = 0.78$, $SD = 0.97$ 4階 $I_s = 0.76$, $SD = 0.97$ 3階 $I_s = 0.758$, $SD = 0.97$ 2階 $I_s = 0.77$, $SD = 0.97$ 1階 $I_s = 0.76$, $SD = 0.97$
3	大竹市役所(南棟)・(北棟)	大竹市小方1丁目1543-1	庁舎					
	南棟部分			別表2(6) 一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	$G I_s = 1.01$	耐震改修済	—	
	北棟部分			別表2(6) 一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	$G I_s = 1.02$	耐震改修済	—	